製造販売元

ジーエヌリサウンドジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3
MMパークビル8F

フリーコール 0120-921-310（TEL）
0120-636-392（FAX）

認証番号　224AABZX00128000

KTG0446 VO 01 1504E-15041K

取扱説明書

耳あな型補聴器
外マイク耳あな型 VO

リサウンド・バーソ

□ VO910-M	□ VO710-M	□ VO510-M
□ VO910-MP	□ VO710-MP	□ VO510-MP
□ VO930-M	□ VO730-M	□ VO530-M
□ VO930-MW	□ VO730-MW	□ VO530-MW
□ VO930-MP	□ VO730-MP	□ VO530-MP
□ VO930-MPW	□ VO730-MPW	□ VO530-MPW
□ VO930-MU	□ VO730-MU	□ VO530-MU
□ VO930-MUW	□ VO730-MUW	□ VO530-MUW

ReSound
rediscover hearing

はじめに

管理医療機器
オーダーメイド式耳あな型補聴器

外マイク耳あな型 VO

この度はジーエヌリサウンド補聴器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

この取扱説明書では、各器種を以下のように呼びます。

この取扱説明書での呼び方	リサウンド・バーソ9	リサウンド・バーソ7	リサウンド・バーソ5
10タイプ	VO910-M VO910-MP	VO710-M VO710-MP	VO510-M VO510-MP
30タイプ	VO930-M VO930-MP VO930-MU VO930-MW VO930-MPW VO930-MUW	VO730-M VO730-MP VO730-MU VO730-MW VO730-MPW VO730-MUW	VO530-M VO530-MP VO530-MU VO530-MW VO530-MPW VO530-MUW

安全上のご注意（必ずお守りください）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。

表示	内容
⃠禁止	この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

用語	説明
重　傷	失明・ケガ・火傷・骨折・中毒など、後遺症が残ったり治療のための入院や長期の通院を必要とするものを示します。
軽　傷	重傷に該当しないケガ・火傷などを示します。
物的損傷	家屋・家財ならびに人身以外の家畜やペットに関わる拡大損害を示します。
使用者	本機器の使用者を想定しています。ただし、使用者は購入者だけでなく、その家族・友人など第三者・購入者から製品を譲渡された者などを含みます。

【禁忌・禁止】

1. 次の場合、補聴器を使用しないでください。

- ●耳を治療中の場合
- ●耳の中に痛みがある場合
- ●先天的または外傷による明らかな耳の変形がある場合
- ●過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合
- ●過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合
- ●急性または慢性のめまいがある場合
- ●耳あか、または異物の集積が明らかな場合

2. 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

●耳漏が生じたとき

●耳の治療が必要になったとき

●耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき

●耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ、湿疹が生じたとき

●使用すると頭痛や疲れが生じたとき

●補聴器の外観、音質、音量などに異常を感じたとき

3. 大きな音で聞き続けるとさらに聞こえを悪くすることがあります。

※ 補聴器からピーピー音が発生するハウリング状態で使用し続けると聞こえを悪くすることがあります。

【併用禁忌】

病院などで治療や検査を受けるときの注意

●治療や検査が補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずすかどうかお尋ねください。

●MRIの検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。

目 次

1 製品概要

1-1. 各部の名称と役割

① **音の入口**
音声を聞き取るためのマイクです。

② **シェル**
耳の中に入れる部分です。装用者の耳の形からオーダーメイドで形成します。

③ **音の出口**
本体内部で増幅された音声を外耳道に導きます。

④ **電池ケース**
電池を収納します。
（詳細は7ページをご覧ください）

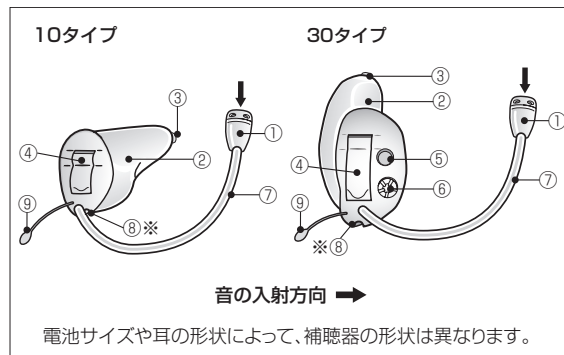
⑤ **プログラム選択ボタン**
プログラムを切り替える（選択する）際に使用します。
（詳細は13～15ページをご覧ください）

⑥ **ボリュームコントロール（オプション）**
音量の調整を行います。
（詳細は12ページをご覧ください）

⑦ **マイクチューブ**
マイクが変換した電気信号を補聴器本体の増幅器に導きます。

⑧ **ベント**
外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させます。
※ 聴力によっては付かない場合があります。

⑨ **テグス**
補聴器を取り出すときのつまみです。

電池サイズや耳の形状によって、補聴器の形状は異なります。

1-2. 付属品の確認

この補聴器には、補聴器を保管したり持ち歩いたりするための携帯用ケースの他に、以下のものが付属されています。補聴器をご使用になる前に、必ず確認してください。万一不足するもの、また破損しているものなどがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
（□にチェックマークをして、確認されることをおすすめします）

① □ 電　池　【1個】

【10タイプ】
PR536/10
【30タイプ】
PR41/312または
PR48/13（選択式）

※ 両耳で購入された場合、電池は2個、耳あかガードは2ケースになります。

② □ 耳あかガード　【1ケース】

（選択する耳あかガードの種類によって交換用の耳あかガードが付属するものと付属しないものがあります。詳細はお買い求めの販売店までお問い合わせください。）

③ □ 耳あか掃除ブラシ　【1本】

④ □ 乾燥ケース　【1個】

⑤ □ クリーニングクロス　【1枚】

オプション　（別売）

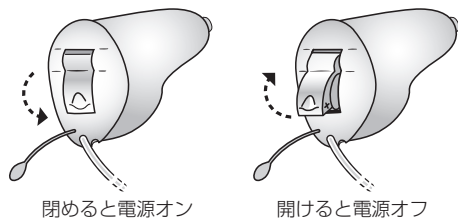
⑥ □ マグネット（スムーズホン™用）

2 基本的な使い方

2-1. 電源の入れ方／切り方

電源の入／切は電池ケースで行います。電池ケースを完全に閉じると電源が入り、開けると電源が切れます。

閉めると電源オン

開けると電源オフ

※ 電源投入時は「プログラム1」が自動的に選択されます。
※ 電源投入時は初期設定の音量に戻ります。
※ 電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

■スマートスタート機能

補聴器を耳に装用する際に不快なハウリング（ピーピー音）が発生する事があります。本製品にはこのハウリングの発生を防ぐ為に「スマートスタート機能」がついています。この機能をオンにすると、電源を入れてもすぐには音声が入らず、代わりにお知らせ音（ポーン、ポーン、ポーン…）が鳴ります。なお、この機能のオン/オフは、お買い求めの販売店で設定することができます。

2-2. 電池の取り出し方／入れ方

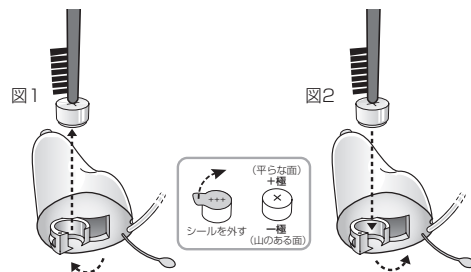
■電池の取り出し方

電池ケースを図のようにそっと開いて、耳あか掃除ブラシ先端の磁石の部分で電池をつけ取り出してください。（図1参照）

■電池の入れ方

（1）電池に貼ってあるシールをはがして、1分程度経過してからご使用ください。

（2）耳あか掃除ブラシ先端の磁石に電池の平らな面（+マークの付いている面）をつけ、そっと持ち上げてください。

（3）電池を補聴器の電池ケースにまっすぐ入れてください。（図2参照）電池がしっかり入ったら、耳あか掃除ブラシを横にスライドさせ、電池から引き離してください。

⚠注意

（1）電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとせず電池の向きと種類を確認してください。

（2）補聴器をしばらく装用されない場合は、電池を補聴器から外してください。

2-3. 電池寿命お知らせ機能

電池残量が少なくなってくると、交換を知らせる電子音（ポポポポーン）が電池が無くなるまで15分おきに繰り返し鳴ります。その後、補聴器の電源が自動的に切れます。電池交換を知らせる電子音が鳴りましたら、必ず新しい電池と交換してください。電池切れに備えて、予備の電池を常に携行することをおすすめします。この機能はお買い求めの販売店で調整することができます。

■ユナイト™ワイヤレスシステム（オプション）使用時

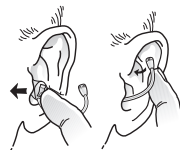
ユナイト™ワイヤレスシステム使用時は、補聴器のみで使用している時よりも補聴器の電池消費量が多くなります。補聴器の電池残量が、TVユナイト™Ⅱ、携帯ユナイト™Ⅱ、マイクユナイト™を使用できないレベルになると、電子音が鳴ります。このお知らせ音がした後は、リモコンユナイト™Ⅱは通常通り作動しますが、TVユナイト™Ⅱ、携帯ユナイト™Ⅱ、マイクユナイト™は使用できなくなります。さらに電池残量が減ると、リモコンユナイト™Ⅱは使用できなくなりますが、補聴器は通常通り使用できます。
新しい電池に交換すると、ユナイト™ワイヤレスシステムは再び使用できるようになります。

2-4. 補聴器の装着

■補聴器の着け方

(1) 人差し指を上、親指を下にし、マイクが上を向くように電池ケースの部分を持ってください。（右図参照）補聴器が耳の入口におさまるまでやさしく押し込んでください。

(2) マイクチューブを耳の形状に沿わせて装着してください。

(3) 補聴器が正しく装着されると右図のようになります。もしマイクチューブが耳を刺激するようでしたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

※ スマートスタート機能が働いている場合、電池ケースを閉じた後「ポーン、ポーン、ポーン…」というお知らせ音が鳴り、電源が入ります。（詳細は6ページをご覧ください。）

■補聴器の外し方

テグスを指の腹でやさしくつかんで引っ張ると、補聴器が出てきます。テグスを爪でつまむと折れたり切れたりする事がありますのでご注意ください。

⚠ 注意

※ 装用者以外の方が操作される場合は、レシーバー・マイク・装用者に同時に接触しないようご注意ください。

2-5. 音量調整について（30タイプのみ）

■音量調整

ボリュームコントロール（オプション）付きの補聴器は、必要に応じてお客様自身が音量を手動で調整することができます。

（1）ボリュームコントロールを前方向に回すと、音が大きくなります。

（2）ボリュームコントロールを後ろ方向に回すと、音が小さくなります。

※ ボリュームコントロールを回すと「ピッピッ」というお知らせ音が鳴ります。上限あるいは下限に達すると「ポー」という音に変わります。

※ 電源を切るもしくは他のプログラムに切り替えると、変更した音量は元に戻ります。

※ 両耳連動機能のついた補聴器を両耳でお使いの場合は、片耳の補聴器の音量を変更すると自動的にもう片方の補聴器の音量も変更されます。この機能は販売店でオフにすることができます。

2-6. プログラム変更について

■プログラム変更

プログラム選択ボタンは、プログラムを切り替えるときに使用します。お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて、最大で4つのプログラムを設定することができます。詳細についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

プログラム数については、下記の表をご参照ください。

シリーズ名	プログラム数
リサウンド・バーソ9	4
リサウンド・バーソ7	3
リサウンド・バーソ5	2

※ オプションのテレコイル使用時は、リサウンド・バーソ7は専用のプログラムが設定できます。

※ ワイヤレス非対応でプログラム選択ボタンの無い器種は、すべて1プログラムになります。詳細についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

※ スムーズホン™使用時は、専用のプログラムが設定できます。

※ オプションのTVユナイト™Ⅱ、携帯ユナイト™Ⅱ、マイクユナイト™使用時は、専用のプログラムが設定できます。

※ 両耳連動機能のついた補聴器を両耳でお使いの場合は、片耳の補聴器のプログラムを変更すると自動的にもう片方の補聴器のプログラムも変更されます。

電源が入った状態で、プログラム選択ボタンを押すと簡単にプログラムを切り替えることができます。プログラムを切り替える度に「ポーン」という『お知らせ音』が鳴りますので、『お知らせ音』の回数によって、どのプログラムが選択されたか分かります。

お知らせ音の鳴る回数
□プログラム 1：1回「ポーン」
□プログラム 2：2回「ポーン、ポーン」
□プログラム 3：3回「ポーン、ポーン、ポーン」
□プログラム 4：4回「ポーン、ポーン、ポーン、ポーン」

2プログラムの場合は、1→2、2→1の順番で切り替わります。3プログラムの場合は、1→2、2→3、3→1の順番で切り替わります。4プログラムの場合は、1→2、2→3、3→4、4→1の順番で切り替わります。

※ 電源投入時はプログラム1が自動選択されます。（詳細は、5ページをご覧ください。）

■プログラム設定

お買い求めの販売店でお客様の補聴器に設定されているプログラムの内容を下記の表に記入します。どのプログラムをいつ、どのように選択すればよいのか判断するためにお使いください。

プログラム	内容・使用環境

■フライトモード （ユナイト™ワイヤレスシステム使用時）

飛行中に電波を発生させることは禁じられているため、飛行機に搭乗する際や無線送信や電波を発する機器が禁止されている場所ではワイヤレス機能をオフ（フライトモード）にしてください。ワイヤレス機能をオフにするには、下記の操作をしてください。

フライトモードの設定方法

（1）電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。
（2）もう一度電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。
（3）もう一度電池ケースを閉じてください。

フライトモードを設定すると「ポポーン、ポポーン、ポポーン・・・」というお知らせ音が鳴ります。

フライトモードの解除方法

（1）「ポポーン」というお知らせ音が**鳴り終わってから10秒以上**待ってください。
（2）その後、電池ケースを開け⇒閉めしてください。
（3）フライトモードを解除したら、すぐに電池ケースを開けずに閉めたまま30秒以上放置してください。

2-7. 電話での使用

本補聴器は、装用したままでも電話を使用することができます。下図のように受話器を補聴器のマイク部分に近づけてください。そのとき、マイクには直接あてないよう注意してください。もし、電話中にハウリング（ピーピー音）が起こった場合は、受話器を補聴器から遠ざけてください。

※ 本補聴器は、携帯電話からの電磁妨害に対する最も厳格な基準を守っています。しかし、すべての携帯電話と適合性があるわけではありません。もし、お持ちの携帯電話での聞き取りが悪かった場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

2-8. スムーズホン™（オプション）の使用について

スムーズホン™は、マグネットを取り付けた受話器を耳にあてると自動的に補聴器が電話モードになる機能です。受話器を耳から離すと、元のプログラムに自動的に戻ります。スムーズホン™をご利用になる際には、お買い求めの販売店でスムーズホン™プログラムを設定してもらってください。

■スムーズホン™のマグネットの取り付け方

（1）受話口を十分に清潔な状態にしてください。

（2）マグネットを受話口のすぐ下に貼ってください。必要であれば、マグネットの位置を少しずらして調整してください。

■スムーズホン™の使用方法

通常通り受話器を耳にあてて電話を使用してください。受話器が補聴器の近くにくると、自動的にスムーズホン™プログラムに切り替わり、その際お知らせ音が鳴ります。

※ スムーズホン™機能がきちんと作動し、よりよく聞き取れるようにするために、必要に応じて受話器の最適な位置を探してください。

⚠警告

（1）受話器の磁場を強くするためのマグネットが、医療機器や電子装置に影響を与える可能性があります。マグネットやマグネットをつけた受話器は、ペースメーカー、クレジットカード、磁気に反応するその他の機器から常に30cm以上離してください。

（2）スムーズホンプログラムに切り替わらない場合は、マグネットが受話口に対して最適な位置にない可能性があります。その場合は、マグネットを受話器の他の場所に動かしてください。

（3）必ずジーエヌリサウンドのスムーズホン™用のマグネットを使ってください。

2-9. テレコイル（オプション）について

（30タイプのP、Uの付く器種のみ）

テレコイルは、教室、公共施設、家庭内などのループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときに使用します。
また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受話器であれば、電話でお使いいただくことができます。テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

3 日頃のお手入れ

補聴器はいつも清潔にしておいてください。ご使用後は、付属の耳あか掃除ブラシで耳あかを取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。取りきれない汚れなどは、お買い求めの販売店で取り除いてもらってください。そのままお使いになると、補聴器の機能に影響をあたえるばかりでなく、故障の原因になります。また、マイク及びマイクチューブと音の出口も定期的にお手入れ・点検をしてください。

■音の出口のお手入れ

付属の耳あか掃除ブラシでゴミなどを取り除いて、常に清潔にしておいてください。

※ 必ず清掃面を下に向けて掃除してください。

■ディンプルシェルのお手入れ

シェル表面のくぼみに残った耳あかなどを付属の耳あか掃除ブラシでお手入れしていただくことで、装用時の快適性が損なわれることなく、お使いいただけます。

図は10タイプ左耳用

■マイクとマイクチューブの掃除

やわらかく乾いた布でマイクとマイクチューブを拭いてください。
マイクに耳あかが詰まっている場合は耳あか掃除ブラシを使って耳あかを取り除いてください。

■耳あかについて

ほんの少しの耳あかでも、補聴器の機能に影響をあたえます。補聴器を装用されている方は、時々耳鼻科を受診し、耳の中をきれいにしてもらってください。また、定期的に耳の検診を受けることをおすすめします。

■補聴器の保管について

補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いため、装用後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。

🚫禁止

(1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
(2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けてください。

⚠注意

(1) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。
(2) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら新しいものと交換してください。
(3) 乱暴な扱い方は補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

4 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装用者ご本人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

⚠警告

- **お子様が触れないようご注意ください。**
  飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようお願いします。

- **飛行機に搭乗する際には、ワイヤレス機能をオフにしてください。（詳細は16ページをご覧ください。）**

- **スムーズホン™用のマグネットは乳幼児の手の届かないところに保管してください。**
  マグネットを誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、マグネットを錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。

- **電波を出すことを禁じられているエリアでは、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。（詳細は16ページをご覧ください。）**

- **ジーエヌリサウンドの補聴器を接続する際には、必ずジーエヌリサウンドの補聴器用のアクセサリーと接続してください。**

⚠注意

- **衝撃・熱を避けてください。**
  補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。

- **補聴器はいつも清潔にしておいてください。**
  就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。

- **適切な音量でご使用ください。**
  必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。

● **補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。**

この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらってから装用してください。

● **補聴器を装用しても良く聞き取れない音もあります。**

小さすぎる音、遠くの音や周囲の雑音が大きい環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づくか、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

● **ハウリング(ピーピー音)にご注意ください。**

補聴器がきちんと収まっていない場合や、抜けかけて隙間ができた場合などには特にハウリングが起こりやすく、装用者に不快感を与えるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることになります。ご自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきいてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。

● **補聴器を装用して炎症が生じたら・・・**

この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用していますが、装用者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装用を中止し、医師へご相談ください。

● **低周波治療器・電磁(IH)調理器などによって補聴器に雑音が発生することがあります。**

● **ご不用になった補聴器及びその付属品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。**

● **ワイヤレス機能がオンになっているとき、ユナイト™ワイヤレスシステムと通信するため、デジタル符号化された低出力伝送が使われます。そのため、ユナイト™ワイヤレスシステムを使用しているときに近くの電子機器が影響される可能性があります。万が一機器への影響が認められた場合は、補聴器を遠ざけてください。**

● **ワイヤレス機能及び機器の使用に際して電磁波障害が起こった場合には、その原因となるものから遠ざけてください。**

⃠禁止

- **補聴器を水に濡らさないでください。**

  補聴器を装用したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔しないでください。

- **補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造などを絶対にしないでください。**

- **補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。**

- **補聴器を他人に貸さないでください。**

  補聴器は使用者本人以外絶対ご使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装用しても音量や音質が合わずきこえにくいばかりでなく、耳を痛める場合があります。

- **病院内の検査機器にご注意ください。**

  MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装用をおやめください。

この補聴器のユナイト™ワイヤレスシステムの使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この補聴器のユナイト™ワイヤレスシステムを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この補聴器のユナイト™ワイヤレスシステムと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの補聴器のユナイト™ワイヤレスシステムの使用場所を変えるか、または使用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、弊社のカスタマーサービス(0120-921-310)までお問い合わせください。

この補聴器のユナイト™ワイヤレスシステムは2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

5 電池使用上の注意

⚠警告

- ショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯･保管しないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- **電池を誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、電池を錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。**
- 電池内部の液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、ただちに医師へご相談ください。

⚠注意

- ＋、－を逆向きに入れないでください。
- 必ず指定されたタイプの電池を使用してください。
- 空気電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ破損の恐れがあります。
- 補聴器を長時間使わないときは、電池を本体から外してください。使い切った電池を補聴器に入れたままにすると、液漏れする可能性があり、故障の原因になります。
- 直射日光･高温･高湿の場所を避けて保管してください。
- 乾燥ケース内で補聴器を乾燥させる場合は、必ず電池を抜いてください。
- 石油ヒーターやガスヒーターなどの暖房器具から発生する二酸化炭素により電解液が劣化することがあります。電池寿命が短くなるので、暖房器具を使用する場合は、換気を十分に行ってください。
- 使用済みの電池は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

6 故障かな?と思ったら

症　状	原　因	対　策
音がきこえない／音の大きさが不十分	電源が入っていない。	電池ケースを閉じる。
	電池が消耗している。	電池を新しい物に交換する。
	音の出口が詰まっている。	音の出口を掃除して詰まりをとる。
	耳あかガードが詰まっている。	耳あかガードを新しい物と交換する／掃除する。
	スタンバイモードに入っている。	プログラム選択ボタンを押してスタンバイモードを解除する。
	装用者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	医師に相談する。
	設定音量が小さい。	可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。
	マイクに耳あかが詰まっている。	耳あか掃除ブラシを使って耳あかを取り除く。
	マイクが正しい位置に装着されていない。	マイクを装着し直す。
	マイクかマイクチューブが壊れている。	販売店に相談する。
ハウリング（ピーピー音）がする	補聴器が耳の中に正しく挿入されていない。	補聴器を一度取り出してから注意して入れ直す。
	補聴器の設定が合っていない。	販売店に相談する。
	装用者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	医師に相談する。
	マイクが正しい位置に装着されていない。	マイクを装着し直す。
音が不明瞭、音が歪む	電池が切れかかっている。	電池を新しい物に交換する。
	プログラムの設定が合っていない。	販売店に相談する。
	マイクチューブの長さが合っていない。	販売店に相談する。
ワイヤレス機能が使えない	フライトモードに入っている。	電池ケースを開閉する。（詳細は16ページ参照）

※ 対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

7 性能表

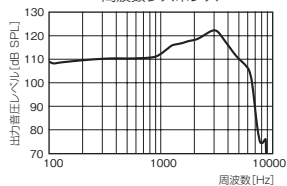
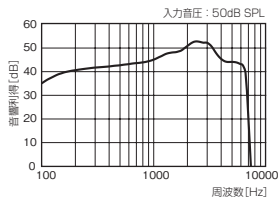
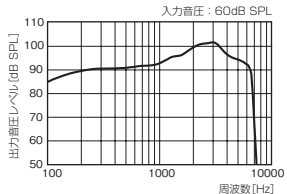
性能表 JIS C 5512:2000 イヤシミュレータ		表示単位	10タイプ（Pの付かない器種）	10タイプ（Pの付く器種）	30タイプ（P・Uの付かない器種）	30タイプ（Pの付く器種）	30タイプ（Uの付く器種）
規準周波数			1600Hz	1600Hz	1600Hz	1600Hz	1600Hz
90dB最大出力音圧レベル	1600Hz	dB±5dB	117	120	117	121	136
	ピーク	dB以下	125	130	125	130	141
最大音響利得	1600Hz	dB±5dB	48	55	48	56	64
等価入力雑音レベル		dB以下	29	29	29	29	29
全高調波ひずみ	500Hz	%以下	3.6	3.8	3.9	4.0	3.3
	800Hz	%以下	4.2	4.5	4.1	4.4	3.6
	1600Hz	%以下	4.1	3.9	4.0	3.9	3.3
電池電流		mA以下	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3
電池寿命	PR536/10	時間	85	85	—	—	—
	PR41/312	時間	—	—	150*	150*	150*
	PR48/13	時間	—	—	260*	260*	260*
誘導コイル入力の最大感度	1600Hz	dB±6dB	—	—	—	87	94
最大感度となる方向			—	—	—	垂直	垂直

＊ ユナイト™ワイヤレスシステム接続・使用時は電池寿命が短くなります。

※ 数値は参考値です。

8 音響諸特性

イヤシミュレータ 測定規格：JIS C 5512:2000

● 10タイプ（Pの付かない器種）

イヤシミュレータ 測定規格：JIS C 5512:2000

● 10タイプ（Pの付く器種）

規準周波数レスポンス

イヤシミュレータ 測定規格：JIS C 5512:2000

●30タイプ（P･Uの付かない器種）

90dB 最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス

最大音響利得の周波数レスポンス

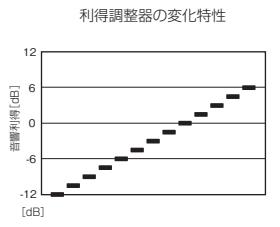
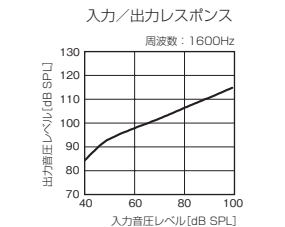
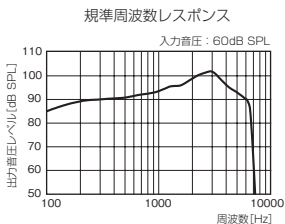
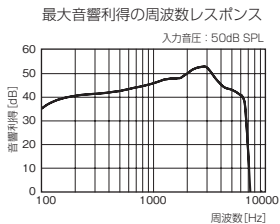
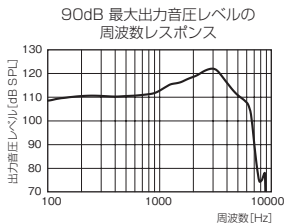
入力音圧：50dB SPL

規準周波数レスポンス

入力音圧：60dB SPL

入力／出力レスポンス

周波数：1600Hz

出力音圧レベル［dB SPL］
入力音圧レベル［dB SPL］

利得調整器の変化特性

イヤシミュレータ 測定規格：JIS C 5512:2000

●30タイプ（Pの付く器種）

90dB 最大出力音圧レベルの
周波数レスポンス

最大音響利得の周波数レスポンス

入力音圧：50dB SPL

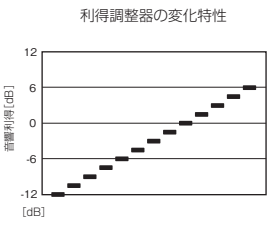
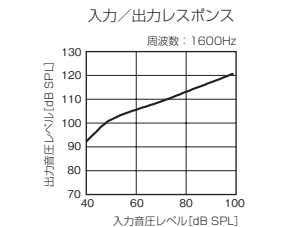
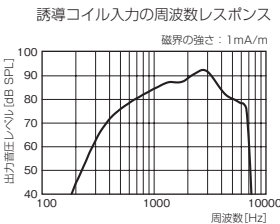
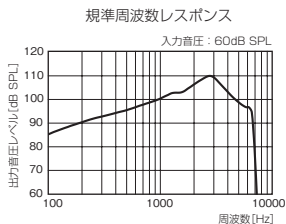
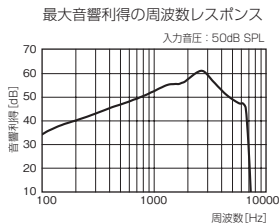
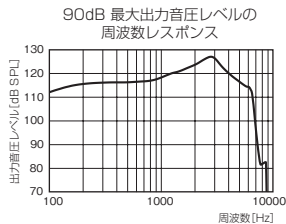
規準周波数レスポンス

入力音圧：60dB SPL

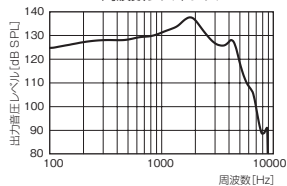
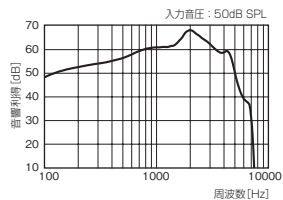
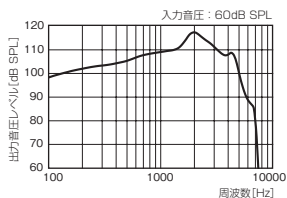
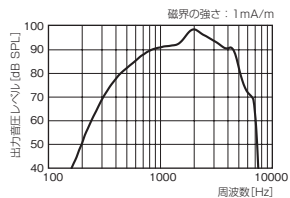
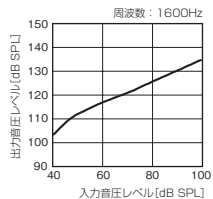
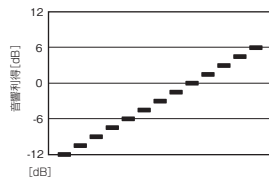
誘導コイル入力の周波数レスポンス

磁界の強さ：1mA/m

入力／出力レスポンス

周波数：1600Hz

利得調整器の変化特性

イヤシミュレータ 測定規格：JIS C 5512:2000

●30タイプ（Uの付く器種）

9 アフターサービスについて

■保証内容

● プレミアム保証
（リサウンド・バーソ9、リサウンド・バーソ7のみ）

1. 紛失・破損保証
お買い上げの日から2年間、紛失やユーザー様の過失による損傷の場合も、最初の1回に限り無償にて新品交換、修理対応を行います。

※ 但し紛失保証時には保証書と共に紛失届が必要となります。

2. ずっと再作保証
シェルが耳に合わなくなった場合は、シェルの再作を何度でも無償にて行います。

※ 適用期間は該当製品の修理対応期間終了時までとさせていただきます。

※ リサウンド・バーソ7の紛失・破損保証は1年間、再作保証は2年間となります。

● 2年間無償保証+ほっとシステム
シェルの再作及び補聴器の自然故障の修理は、お買い上げ日から2年間、無償にて行います。その後、1回の修理につき3年目は20,000円、4年目は40,000円を上限とし、これを超える修理費用は請求いたしません。

※ 自然故障の場合のみ適用します。

■保証書（別添付）
お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。保証適用時には保証書が必要となります。

■修理について

・ 保証期間中

保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。保証書の提示がない場合は有料となります。

・ 保証期間後

お買い求めの販売店にご相談ください。修理により使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

■仕様について

改良のため仕様は予告なく変更される場合があります。